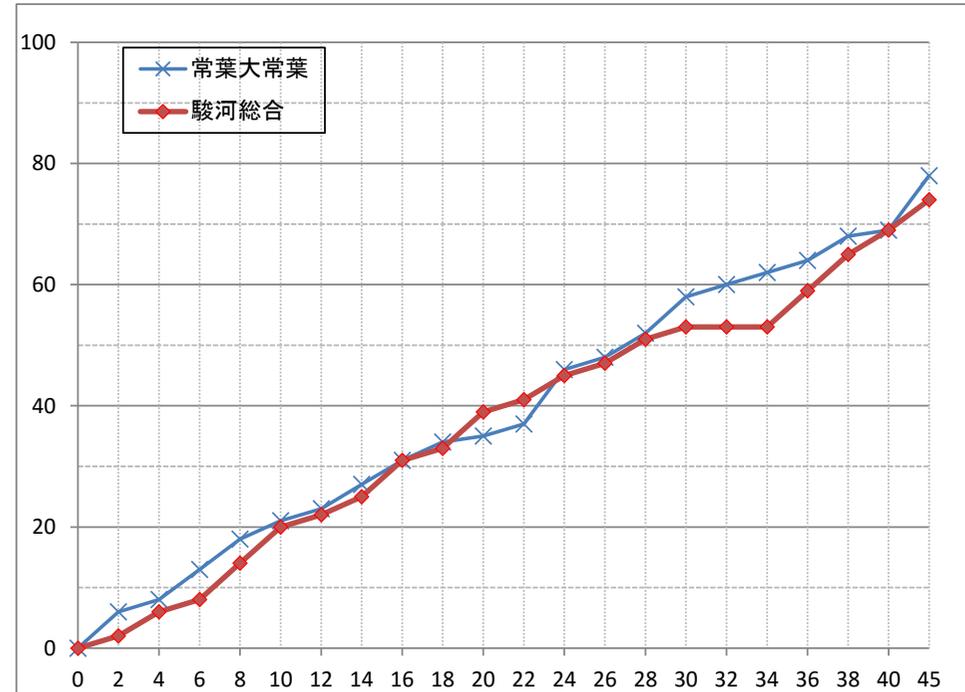


平成29年度東海高等学校バスケットボール新人大会静岡県予選兼静岡県高等学校バスケットボール新人大会県大会

決勝リーグ	
試合日	2018年1月28日
会場	このはなアリーナ
コート	Bコート
開始時間	13:30

TEAM A		TEAM B
常葉大常葉 (中部)	78	駿河総合 (中部)
	21 - 20	
	14 - 19	
	23 - 14	
	11 - 16	
	9 OT 5	

【得点経過】



TEAM A 常葉大常葉 (中部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山地 菜月	12	0	6	0	4
5	*	北村 音緒	33	1	15	0	3
6		見崎 菜摘	3	0	0	3	3
7		樋口 茜	2	0	0	2	3
8	DNP	杉山 もえ	0	0	0	0	0
9	DNP	佐藤 優凧	0	0	0	0	0
10	DNP	山口 郁実	0	0	0	0	0
11	*	保坂 悠月	15	0	5	5	1
12	*	林 美弥子	11	0	5	1	3
13	*	池田 桃子	2	0	1	0	1
14	DNP	菅根 萌生	0	0	0	0	0
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			78	1	32	11	18

TEAM B 駿河総合 (中部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	野村 菜由	18	0	7	4	1
5	*	永石 華萌	4	0	2	0	4
6		片桐 明日美	0	0	0	0	2
7	*	勝又 亜梨沙	13	0	5	3	5
8	DNP	佐々木 萌	0	0	0	0	0
9	*	加茂 恵	0	0	0	0	2
10	*	鈴木 美優	37	2	13	5	4
11		四竈 恵子	2	0	0	2	4
12	DNP	小原 嘉佳	0	0	0	0	0
13	DNP	森谷 結愛	0	0	0	0	0
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			74	2	27	14	22

【戦評】

1PD 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。先制した常葉大常葉は序盤を有利に進めるが、駿河総合もオフェンスリバウンドを粘り強く獲得し、得点につなげて応戦する。ドライブ中心の常葉大常葉と内外のバランスをとって攻撃する駿河総合は一進一退の展開を続け、21-20で第1ピリオド終了。

2PD お互いに決め手を欠く中、常葉大常葉のドライブが成功し始め、リードを奪う。得点が伸び悩む駿河総合であったが⑩鈴木が正確なシュート力を発揮し、再び点差を縮める。その後、常葉大常葉が獲得したフリースローを落として加点に苦しみ中、④野村を中心に着実に得点した駿河総合が逆転し、35-39で前半終了

3PD 前半同様、互いにマンツーマンディフェンスを採用する。疲労も見える中、互いに気迫のこもったプレーを展開し、リードチェンジを繰り返す白熱した戦いを繰り広げる。終盤、常葉大常葉の④山地、⑤北村が意地を見せ、58-53で最終ピリオドを迎える。

4PD ともにディフェンスで粘り、相手に自由を与えない。常葉大常葉がリードを9点に広げたところで流れは決まったかに思われたが、駿河総合は落ち着いて反撃し、再び追いつく。特に駿河総合④野村⑩鈴木は高い得点力を発揮し、チームの窮地を救う。残り20秒で駿河総合⑩鈴木がレイアップを決めて1点リードしたが、常葉大常葉⑦樋口がその後に獲得したフリースローを1本成功させ、69-69で延長戦へ。

OT 常葉大常葉は⑫林がフリースローを獲得するも2本とも落としてしまう。延長においても駿河総合⑩鈴木が活躍を見せるが、終盤の常葉大常葉の気迫は素晴らしく78-74で常葉大常葉が接戦をものにした。

戦評(文責) 寺本 真佐義(静岡西高校) 記入者 杉山海夢、武藤彩乃(静岡市立高校)